

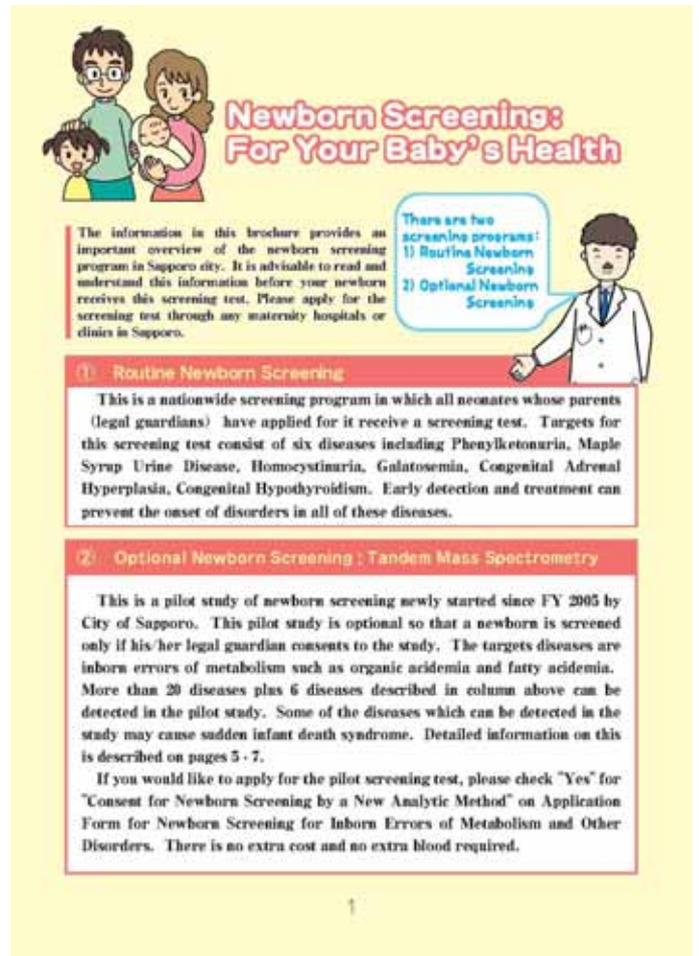
新しい代謝異常症等検査に関するお知らせ

日頃より、札幌市の新生児マス・スクリーニング事業にご理解、ご協力いただきありがとうございます。2005 年(平成 17 年)4 月から当初 2 年間の予定でタンDEM質量分析計を用いた試験研究「新しい検査法による代謝異常症等検査」が開始されておりましたが、この度試験研究期間の延長が決定され平成 19 年度についても同様に検査を行うこととなりました。引き続き試験研究へのご協力をお願いいたします。

英語版パンフレットできました

外国人の方にもこの検査に関して広く周知し有効に利用していただくために英語版のパンフレットと申込書を作成しました。ホームページからダウンロードすることもできますし、郵送による配布も行いますので希望する医療機関の方はお気軽にご連絡ください。

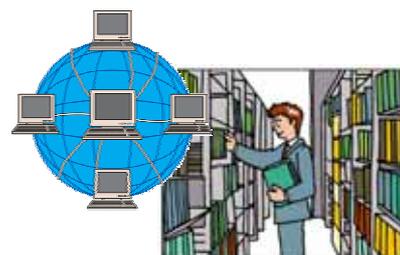
<http://www.city.sapporo.jp/eiken/screen/newborn/panf.htm>



申込書の回収

近年の多分野における科学の進歩と情報化は、同時に生命倫理や、個人情報の適切な取り扱い方法への細心の配慮を必要とするようになりました。

私達は、平成 15 年 8 月に遺伝医学学会等により提案された「遺伝学的検査におけるガイドライン」に基づいて検査を実施できる方法、すなわち検査実施機関が、本人もしくは代諾者の検査受検意思をきちんと確認できる環境を整えるため、2005 年(平成 17 年)4 月から申込書を複写式とし、全例において、申込書の回収を前提として、検査を実施することとしました。これまで、医療機関のみなさまのご理解により、すべての検体について申込書が回収できています。今後もお協力をお願いいたします。



採血実施状況と検体の郵送について

☆ 採血医療機関数・・・ 51 施設 (助産院・助産所 6 施設を含む)

☆ 採血実施状況 (2005 年度のまとめ)

採血日齢

初回採血日齢	検体数	(割合)
6日以内	14,874	(96.7%)
7日	216	(1.4%)
8～14日	193	(1.3%)
15～30日	59	(0.4%)
31～60日	26	(0.2%)
61～120日	9	(0.1%)
平均	5.1 ± 2.7日	

採血不備の検体について

不備理由	検体数
哺乳量不足	13
採血量不足	5
乾燥不十分、にじみ、重ね付けなど	6
検体が古い (採血後から日数経過)	3
日齢が3日以内	1
計	28

☆ 検体郵送日数

初回検体 15,377 件の分布

所要日数	検体数	(割合)
1日以内	3,455	(22.5%)
2日	4,441	(28.9%)
3日	3,661	(23.8%)
4日	2,130	(13.9%)
5日以上	1,699	(11.0%)
平均	2.7 ± 1.6日	

採血医療機関別 (年間検体数 100 件以上の医療機関における所要日数の年間平均)

所要日数の平均	医療機関数	(割合)
2日以内	4	(11%)
2日以上3日以内	22	(58%)
3日以上4日以内	10	(26%)
4日以上	2	(5%)
計	38 医療機関	

採血不備の検体が 28 件とごく少数ではありますが見受けられました。再採血が必要となり早期発見の妨げとなる場合もありますので、採血時に更なるご注意をお願いいたします。また、採血してから検体が届くまでに数日経過しているものも多く、これも早期発見の妨げとなりますので採血後はなるべく早めに郵送して頂きますようお願いいたします。なお、通常日齢 4 日～6 日での採血をお願いしていますが、**メープルシロップ尿症、ガラクトース血症 型、副腎過形成症**が疑われるときはより早期からの治療が重要となりますので、この日齢に関わらず早期採血を行い、速やかに検体を送付して頂きますようお願いいたします。また、出生体重 2,000g 未満の新生児については初回検査の結果が正常であっても 体重が 2,500g に達した時 生後 1 ヶ月に達した時 退院時 のいずれかで 2 回目の採血を行って頂きますようお願いいたします。